プロが教える

# これが本当の生きる力

1.人とつながる力
2.流されない力
3.夢を描く力
4.続ける力
5.寄り添う力
6.世界を見る力

いずれ学校を卒業し、誰もが足を踏み入れる「社会」。そこで一人前の人間として人生を歩むには、何が必要だろう。それぞれの舞台で自分の道を見つけ、活躍する6人に聞いた。アドバイスの中から一つでも、毎日の生活で実践してみよう。君も素敵な大人に一歩近づけるはずだ。

「DS美文字トレーニング」
(C)2008 Nintendo

同社が開発にかかわったソフト。「今までにないワクワクがある"新しい定番"を生み出したい」（鈴井さん）

「しゃべる！DSお料理ナビ」
(C)2006 Nintendo

## 人とつながる力
### チームワークが今までにない力を生む

有限会社　インディーズゼロ
代表取締役
**鈴井　匡伸さん**

すずい・まさのぶ　1997年、東京・吉祥寺にゲームソフト開発会社を設立。最近はニンテンドーDS用ソフトの開発にかかわる。『DS美文字トレーニング』『しゃべる！DSお料理ナビ』などが好評。

部活や文化祭など、仲間と力を合わせる場は、高校生活の中にも多い。大人になっても仕事を舞台に多くの人と協力する。お客さんや社会に役立つ成果をより厳しく求められる。「プロのチームワーク」とは、なんだろう。

ニンテンドーDS用のゲームソフトで斬新な商品の開発にかかわる同社の鈴井さんは、「（プロとして力を合わせるには）こういうものを作りたいんだ、という〝テーマ〟をチーム全員が共有することが大事、そのためには一言で人に面白さが伝わるようにする必要があります」と話す。

ゲーム作りは、ストーリーを考える人、コンピュータープログラムを組む人、画面上の絵を描く人など、さまざまな才能がチームを組む。「最初に徹底的に話し合って、〝どんなゲームにしたいか〟を共有すれば、そのあとはいえ、簡単に〝テーマ〟の共有ができるわけではない。「分かり合うためには、自分の常識と他人の常識とは違うと知ることが大事ですね。〝暗黙の了解〟ではなく、言葉で思いを伝えるようにしています」

メンバーで仕事をし、積み重ねた信頼が会社の強みとなる

### 自分の常識が他人の常識と思わない

ただ、違う人間同士、性格的に合わないことはある。「そんなときは趣味でも服装でもちょっとした共通点を見つけ、会話のきっかけをつくるのがコツです」と鈴井さんはアドバイスする。「相手を受け入れる用意があることを示すのです。『嫌い』という空気を出したら壁ができてしまう。チームの中で、雰囲気を盛り上げていくことも、大事なことです」

明確な軸に沿って自分の担当や個人的な好き嫌い、立場の上下も超えて論理的に意見が言い合える。その結果、各自が納得して気持ちよく、自分の力を発揮できます」

「一人ひとりが尊重されるチームワークの中、メンバーの特徴をお互いが知ることで、信頼関係が積み重なっていく。すると一人の力が掛け算で大きくなり、今までにない力が生まれるのです」